

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

日 時：平成 24 年 3 月 19 日（火曜） 10 時 00 分から 11 時 50 分まで

場 所：習志野市 仮庁舎 3 階大会議室

委員出席者：大島委員（会長）、斉藤委員（副会長）、関委員、伊藤委員、小川委員、
真船委員、金子委員、鯨井委員、廣田委員、海寶委員、大塚委員、
越智委員、小池委員

（欠席：小宮委員、細川委員）

事務局出席者：島田副市長、諏訪企画政策部長、井澤企画政策部次長、竹田企画政策課長、
越川係長、伊東係長、中野主査、柴垣主任主事

議 題：1・各委員からの意見について
2・パブリックコメントについて
3・諮問に係る審議
4・その他

議 事 録：

<u>開 会</u>	
会長	<p>只今から、平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会を開催致します。</p> <p>本審議会は、習志野市長期計画審議会条例第 5 条第 2 項の規定によりまして、委員の過半数の出席が要件となっておりますが、本日は 13 名の方の出席を頂いておりますので、本審議会は成立しております。</p> <p>また、会議に先立ちまして、本審議会の公開・非公開につきましては、平成 17 年度の第 1 回長期計画審議会において原則公開と決した所であります。本日の傍聴者は 3 名となりましたので、ご承知おき下さい。</p> <p>では、傍聴者の入室を許可致します。</p> <p>宜しいでしょうか、傍聴者の皆様におかれましては、会議を傍聴するにあたって、注意事項を守ることをお願い致します。</p> <p>次に、本日の議事録の署名につきましては、C 委員と G 委員にお願い致しますが、宜しいでしょうか。お願い致します。</p> <p>それでは、本日の次第に沿いまして、会を進行してまいります。次第の「1 各委員からの意見について」でございます。</p> <p>前回、2 月 15 日の審議会において、各委員の皆様により、多数の色々なご意見を頂戴致しました。審議会では、時間も限られていることから、細かな点までお伺いすることが出来ませんでしたので、別途、文書にて事務局へご意見をご提出頂くよう、照会をさせて頂きました。</p> <p>それらについては、事務局にて取りまとめて、構想に反映できる部分については対応したという事です。その詳細につきまして、事務局より、ご説明をお願いしたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。</p>

<p>企画政策 課長</p>	<p>はい、それでは改めまして、皆様、おはようございます。着席のまま説明させていただきます。</p> <p>それではまず、次第の「1 各委員からの意見について」でございますが、前回の審議会においては、お時間の短いところ、活発にご議論頂き、ご意見を頂戴致しました。</p> <p>また、審議会後、文書にて照会をさせて頂きました所、お忙しい所、多くのご意見を頂戴した所でございます。誠にありがとうございました。</p> <p>それでは、お手元の資料でございますが、まず、【資料 1】、こちらが皆様から頂戴した意見を反映できる部分は反映をさせて頂き、修正をさせて頂いた基本構想案でございます。</p> <p>そして、【資料 2】、こちらは皆様から頂戴した意見と、その対応について、一覧とさせて頂いたものでございます。</p> <p>それでは、【資料 1】、基本構想案をご覧頂き、こちらに沿って説明をしてまいりたいと思います。</p> <p>まず、【資料 1】の 3 ページでございます。</p> <p>基本的には、委員の皆様より頂戴したご意見の部分で、変更した点について、文字の書体を変えて、太字にし、網掛けにさせて頂いております。</p> <p>そして、文字の書体を変えて太字にしただけの部分が、委員の意見を踏まえ、全体的な流れを変えて事務局で修正をさせて頂いた所でございます。</p> <p>それでは、変更点がいくつかございますが、大きく変更した点について、ご説明をさせていただきます。</p> <p style="text-align: center;"><u>説明「各委員からの意見について」</u></p> <p>【資料 1 に基づき、事務局より説明。】</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございました。</p> <p>前回の審議を踏まえて、細かな点まで修正して頂いていると思います。</p> <p>また、委員の皆様から頂戴した意見については、【資料 2】の所にまとめてありまして、どういう対応をしたかという事が見易くまとめてあります。</p> <p>今のご説明に対して、また、色々なご意見があるかと思いますが、それにつきましては、後の「3 諮問に係る審議」で詳しく審議していくという事で、まずは、次第の「2 パブリックコメント」についてのご説明をお願い出来ればと思います。事務局より、お願い致します。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>はい、それでは、次第の「2 パブリックコメントについて」でございます。</p> <p style="text-align: center;"><u>説明「パブリックコメントについて」</u></p>

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。</p> <p>只今、審議しております基本構想案について、パブリックコメントを 3 月 29 日から実施するという事でございます。</p> <p>基本構想というのは、習志野市の未来を形作る大切な計画です。皆さんの意見を頂くという点で、パブリックコメントを実施するという事は、大変重要で、非常に良い事だと思います。</p> <p>では、次第の「3 諮問に係る審議」に移りたいと思います。</p> <p>先程、事務局より説明のありました、【資料 1】、基本構想案について審議をしたいと思います。事前に委員の皆さんからの意見を頂いて、うまく取りまとめてあるのではないかと思います。ご意見、ご感想がありましたら、お願いしたいと思います。</p> <p>では、前回、C 委員より色々なご意見を頂いておりますので、その辺、委員のご意見がどのように反映されているかという事について、ご意見を頂戴できればと思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>今回の案は、一生懸命頑張ったなというのがわかって、少しほっとしました。</p> <p>少し厳しいことを言わせて頂くと、3 頁の将来都市像の全文ですが、12 行目の「そのためには、」というのが、結局、何のためになのかがこの文章からはわからなくて。</p> <p>事務局に確認したいのは、文教住宅都市憲章の条文で、まちづくりに市民協働が謳われているからなのか、それとも 7 行目の「重点的に取り組むべき課題を適切に掲げ、その実現を目指していく」ために「やさしさでつながるまち」なのか、8 行目の「魅力的かつ最適な行政サービスを持続的・安定的に提供」していくために「やさしさでつながるまち」なのか、それとも 11 行目、「協働による自主自立のまちづくりを推進する」ためになのか。</p> <p>私の印象としては、この文章からでは何のためにとということがわかりづらかったのです。</p> <p>どういう想いで書かれたのか、もう一度確認したいのですが。</p>
<p>会長</p>	<p>ご説明を頂ければ。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>本文中の「そのためには」というのは、まさにその前段にあるということですが、前段の末尾に「必要があります」という部分がございます。</p> <p>要は、「更にその絆を深め、相互理解の上で責任を担い」と、協働の部分でございますが、この協働の部分のまちづくりを推進する必要があり、更に</p>

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

C 委員	<p>その前段には、「色々な課題があります」と記載がございます。</p> <p>この課題を受けて、どうしていかなければいけないという流れを、その前に書き込みをさせて頂いております。それを受けまして、「そのためには、」と続いているという事です。</p> <p>何が課題で、何を解決するために「みんながやさしきでつながるまち」かがわからないのですが。</p>
企画政策課長	<p>課題の部分は 2 段落目です。社会、経済状況を見ましても、色々な課題があると思います。そこには聞いた事のある言葉ばかりが並んでいる印象を受けるとは思いますが、やはりこういう諸々の課題が習志野市にも多くあるという事です。</p>
会長	<p>それでしたら、「以上の事を踏まえて」という表現はいかがでしょう。</p>
C 委員	<p>「そのためには」というのが何のためかわからなくて、逆に「協働による自主自立のまちづくりを推進する」必要があるのかを明記した方が良いかと思えます。</p> <p>重点プロジェクトの「協働型社会の構築」の文章を少し頂いた方が良いのかなと思います。「そのため」というのが何のためになのかが、私にはちょっとわかりづらいです。</p>
会長	<p>今の事務局のご説明で、言わんとしている所はご理解頂いたという事で宜しいですか。</p>
C 委員	<p>言わんとしている事はわかるのですが、ちょっと文章としては、はっきり読み取れないです。</p>
会長	<p>ここの表現を、言わんとしている趣旨がよく通じるような表現を検討してもらえれば良いと思います。或いは、皆さんからもこういった表現がどうでしょうかと言うご意見があれば。</p>
C 委員	<p>この中で、英語が出てきます。ソーシャルインクルージョンだとか、私も苦手で、小学生や中学生が読んだりすると、ちょっとわからなくなってしまいます。グローバル化というのでも出てきますが、日本語で表現できれば良いのかなと思います。</p> <p>11 頁の「f」ですが、「高齢者や車いすを利用する方」と詳しく書いてあ</p>

	<p>るのですが、ぜひ、ここまで詳しくするなら、視覚障がい者の方や聴覚障がい者の方も、外出を安心して出来るまちという所で、入れて頂ければなと感じました。</p> <p>同じく 11 頁の「自然と調和する環境づくりの推進」の中で、泉町の財務省職員住宅にある隣接する森林について、この存在というのをどうするのか、長期構想の中で出てくると思うので、明記してもらえると良いのかなと思います。</p> <p>15 頁の「自立的都市経営の推進」で、1 行目から課題が書いてあるのですが、この中にフリーター、ニートの 20 代 30 代が安定した職に就いていない現状を入れて頂くと、子どもたちやその方達に、自立した職業観という所を育成していかないといけないという思いがあるので、今の日本の社会の問題としてはその部分があるのかなと思います。</p> <p>また、課題として、食料自給率の低さ、化石燃料の枯渇という部分も入っていると、現代社会の問題という部分で羅列していいのかなと思いました。</p> <p>最後に 18 頁の「協働型社会の構築」という所を重点プロジェクトにするのなら、やはり町会の加入率の向上であったり、集合住宅における町会加入率の向上であったり、まちづくり会議の再構築という部分も今後大事になってくるのではないかなと思いましたので、羅列しただけでも入れて頂いたら良いのかなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ご指摘がありました。それらについてお答えできる部分をお願いします。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>まず一点は英語です。ソーシャルインクルージョンやグローバル化というあたりが、どうも馴染みとしてはわかりづらいのではないかという事です。</p> <p>ソーシャルインクルージョンについては今回のご意見にもございましたので、良いかどうかは別として、括弧表示のような形にさせていただきます。</p> <p>それとグローバル化についても、どちらかと言うと、言葉としては馴染みが深いのかなという部分ではございますが、注釈を加えたほうが良ければ、加えるような形で表記していければと思っております。</p>
<p>C 委員</p>	<p>前回、委員の中に、小中学生でも読めるような易しいものという事で意見がありましたので、指摘をさせて頂きました。</p>

<p>企画政策 課長</p>	<p>11 頁で「f」の欄に黒塗りされている「高齢者や車いすを利用する方」という所で、視覚、聴覚を含めて障がい者というお話がございました。こちらについては確かに高齢者、それから障がいをお持ちの方という部分について表記した方が宜しいのかなと思います。</p> <p>それから、その下、3 節には「自然と調和する環境づくりの推進」で、公園の整備の部分ですが、いわゆる通称「習志野の森」と呼ばれている所をご指摘だと思います。</p> <p>こちらについては現行の基本構想、基本計画の中でも、基本計画の中で公園整備を謳っておりますので、この構想の中では、そのものの名称を出すという事ではなくて、この程度で留めさせて頂き、出来れば計画の中で、その存在について書き込みをしていきたいなと思っております。</p> <p>それから 15 頁ですが、雇用部分が課題としてあるというご指摘だったかと思えます。フリーターとニートという言葉そのまま書き込むかどうかは、また別の問題として考えさせて頂ければと思いますので、最終的にそのまま使えるかどうかというのはわかりませんが、できれば、雇用の中で、含めて考えていければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>C 委員が最初に言われた英語表記が色々な人に通じるかという事から言うと、C 委員が言われたフリーターやニートというのも英語になります。</p> <p>どの程度、小中学生に通じるかという所も出てきますので、そういった事も表現を検討して頂ければと思います。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>化石燃料や食料自給率という問題ですが、こちらについてはどのように表現できるかわかりませんが、今後、整理をさせて頂ければと思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>これは、農業を習志野市で大事にしていきたいという想いもあって、国の問題にもありますので。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>18 頁の協働の部分ですが、町会加入率、まちづくり会議、これについては、基本計画レベルでもう少し確認が出来ればと率直に感じている所がございます。ご意見としては承らせて頂きます。</p>
<p>C 委員</p>	<p>最後に一つ、「財政健全化」の 17 頁の所に、ぜひ、計画的な基金の積み立てを。基金の充実という部分も自立的都市経営という部分で大事になってくるので、その辺も忘れないで頂きたいなと思います。</p> <p>あと、気になったのが 11 頁の「自然と調和する環境づくり」の「c」で、前は芝園清掃工場について、老朽化対策という事があったと思いますが、</p>

<p>企画政策 課長</p>	<p>今回、外されていて、説明がなかったのですが、どのような経緯があったのでしょうか。</p> <p>はい、説明が漏れましてすみません。「c」が空欄になっていますが、芝園清掃工場の部分と、茜浜の衛生処理場の縮小の問題をここに記載しておりました。</p> <p>どちらかと言うと、衛生処理場の縮小と旧清掃工場の解体という部分について、やはり構想のレベルではないだろうということで、計画の方へ記載をしていくことといたしました。</p> <p>そこを一言でまとめたのが、その前段の「b」の所に、太字のゴシック体になっておりますが、「効果的・効率的なごみ処理体制やし尿処理体制」という所で、丸めて記載をさせて頂いたという事でございます。</p> <p>個別具体的な所は削除して、そのリンクする所は「b」の方に書き込みをさせて頂いたという事で、ご理解を頂ければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、前回ご欠席の方で、資料はご覧になって頂いていると思いますので、ご意見ご感想がありましたら、お願い出来ればと思います。</p> <p>A 委員、お願いできますか。</p>
<p>A 委員</p>	<p>取り立てて大きな意見はありませんが、大変、波がないと言いますか、きれいにまとまっていると感じました。</p> <p>このタイトルの「みんながやさしきでつながるまち」ということも、内容に反映されているように感じました。</p> <p>個人的には頭に文教住宅都市憲章というのがございまして、習志野市は文教都市としてずっと進んできているという事で、学生時代から認識していた所ですが、そこに一つ、何か違う視点がそろそろ必要なのではないかと感じています。</p> <p>今のグローバリゼーションですとか、少子高齢化ですとか、色々な各自治体が共通して持っている問題として、「環境」という言葉がどの地域でもあるかと思います。</p> <p>この都市憲章の中にも、その環境に触れた部分が随分あります。ラムサール条約ですとか、具体的には谷津干潟の問題ですとか、そうした部分も入ります。また、重点プロジェクトの中で、「公共施設の再生」という事もあります。</p> <p>そうした部分では、長期計画にキャッチコピー的なものとして、例えば環境都市宣言的な事を入れたらどうかと感じた所です。内容的には、そういう事が色々な所に入っているとは思いますが、もう少し強めに出しても良いの</p>

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>かなという感想を持ちました。</p>
<p>会長</p>	<p>はい、どうもありがとうございました。今のご意見について、事務局からはいかがでしょうか。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>環境という視点については、私どもも十分に認識をしております。表現については、十分に注意をしてみたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>では、K 委員はいかがでしょう。</p>
<p>K 委員</p>	<p>私も A 委員と同じで、全体的な方向としては特にご指摘する所はないのですが、まずは先程の C 委員のお話を踏まえると、構想なのでどこまで具体的な事に入れられるのか、この辺りが難しいのではないかと一つ感じました。</p> <p>また、小中学生でも読めるようなという観点からしますと、単にカタカナ語をやめるとむしろ難しくなってしまうかもしれませんし、そうした観点からしますと、色々なご意見を踏まえる中で同語反復になっていたり、一文が長くなっていたりというのがとても気になりました。</p> <p>例えば、17 頁の 3 段落目、「本市においても、」は一つの段落になっていて、やはりこうなってくるととても読みづらくなってしまいますので、全体的に文章を短くするといった読みやすさの工夫が必要なのではないかなと思いました。内容にかかわる事ではありませんが、そのような印象を持ちました。</p>
<p>会長</p>	<p>どこまで具体的に入れるのかと言う事は、難しい判断になろうかと思いません。数値目標を入れたほうが説得力が出てくるのかどうかという事もあると思いますし、かといって細かくやってしまうと構想と言う所がぼやけてしまうと思います。</p> <p>そのあたり、事務局としては、どういったバランス感覚、判断基準をお持ちでしょうか。</p>
<p>企画政策 課長</p>	<p>明確な設定はしていません。ただやはり、個別具体的な部分については、基本計画や実施計画で記載させて頂き、基本構想になりますと、計画期間が 12 年間という事でございますので、12 年間で想定した中で、どちらかと言うと抽象的な表現になってしまうというのが現実だろうと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>表現がわかりにくい、言わんとしている事はわかるのですが、一般の人が一回読んだだけでは、なかなか意味が取れないという箇所があるのではない</p>

<p>H 委員</p>	<p>のかと言う事です。</p> <p>前回から出ている意見でもありますし、私も最後に文を短くしてはと提案させて頂きたいと思います。</p> <p>私自身の言いやすいようにと、個人的な所が出ているかもしれませんが、基本は、一つの文章が長くて、意味が伝わりづらい箇所が多数あります。</p> <p>一番その典型的なのは、「～するとともに、～」という表現が多い。一つの文の中に、二つの内容が入ってしまっているという事で、これを機械的に「～します。それとともに～」という形で、二つ目の文を続ける。二つの文に分けると、かなり、読みやすいのではないかなと思います。</p> <p>先ほど、K 委員より出ました 17 頁も「行財政改革を進め、少子高齢化やグローバル化の進展、」という所を、「行財政改革を進めてきました。すなわち、～」というようにしてはと思います。</p> <p>言わんとしている趣旨は、ほとんど変わらないと思いますが、文を短くするという事で、より読みやすくなるかとは思いますが。</p> <p>また、原文のままではなかなか意味が通じなかったという所がありまして、例えば、「P15 上から 8 行目～12 行目」ですが、一回読んだだけでは意味が解らなく、2、3 回読んで、ようやく意味がわかるという所です。</p> <p>ご検討頂ければと思いますし、今、委員からもお気づきの点があれば、ご発言頂ければと思います。</p> <p>では、次に H 委員どうぞ。</p> <p>前回、修正をとと言う事でしたので、かなりのご指摘を致しました。それでそれが反映されて今回の形になっているわけですが、意見を申し上げて、いくらかましになったなという程度の所だと思います。</p> <p>文章が長かったり、途中で色々なものが主語と述語の間に入っていたり、主語が逆転したりと、色々な事がありまして、非常に読んでいて疲れます。</p> <p>今回は、前回の修正が入っているわけですが、実は前回は途中で力尽きてしまって、後ろの方を流してしまったところがありました。</p> <p>特に、今回頂いた中では、16 頁の「公共施設再生計画基本方針」、17 頁の「財政健全化」、18 頁の「市民協働基本方針」です。</p> <p>なんとなくわかるような気がしますが、なんだかわからない。特に「財政健全化」の所ははっきり言って、私はよくわかりません。かなりの努力をする必要があると思います。</p> <p>改めて 16 頁以降の所で、修正をもう一回やらせて頂きたいと思います。</p> <p>私も、言葉を商売道具にしてきたものですから、非常にこの文章、気になります。役所の公文書はこれで良いでしょうし、これで十分だと思います。</p> <p>いずれにしても基本構想は市民に読んで頂いて、習志野市はこの先、こん</p>
-------------	---

	<p>な事やるのか、だったら住んでみようかなとか、だったら住み続けてみようかな、そういう事をわかってもらえなければ、何の意味もないです。</p> <p>例えば、「このなか」とか「～中」とありますが、この字が漢字だったり平仮名だったりいろいろ混ざっていて、これは非常にみっともないので、漢字で良いと思いますが、どちらかに統一することが必要だと思います。</p> <p>それから、13 頁の第 3 節の「e」の所、前回から直っておりません。問題は、「また、生涯にわたるスポーツライフの実現をめざし、競技やレクリエーション、ジュニアから高齢者、障がい者等、様々な分野・世代でスポーツ活動の充実を図ります」とありあますが、この「から」という言葉は、物事の幅ですとか範囲とかを表す言葉が、この「から」です。</p> <p>当然ながら、「から」で始まるからには、その終点、或いは方向性を示す「まで」とか「へ」という言葉が必要です。そういう意味では、この文章はこのままだとおかしいです。どうしたら良いかと言うと、「ジュニアから高齢者、障がい者等まで」とすれば宜しいかと思います。</p> <p>あとは、将来都市像のキャッチフレーズですが、「みんなが」という言葉が引っかかっている、基本構想である以上は、「つながる」主語は「市民」であり、様々な市内の活動主体に決まっているわけですから、それを改めて「みんな」という言葉では、何か安っぽい感じがします。</p> <p>会長 「みんなが」がどうかと言う意見がありました。スローガンとしては、やさしさでつながろうという事ですので、まだ基本構想の文章も、やさしい文章でお願いしたいと思いますが。</p> <p>事務局としては、今の発言についていかがでしょうか。</p> <p>企画政策課長 「なかで」という部分の漢字、ひらがなについては、やはりご意見も頂いております。また、「中で」とか、「更に」とかいう所で、漢字、平仮名が混在しているというご指摘もありましたので、私どもとしましては、「なか」については、平仮名で統一させて頂くようにしておりますので、もし漏れがありましたら、それは後程、修正させて頂きます。</p> <p>今後、最終的に、「てにをは」を直す段階で、チェックしてまいります。</p> <p>それと、13 頁のスポーツの部分で、H 委員より、「障害者まで」という事でご意見を頂戴しておりましたが、日本語的に必要であるというご指摘でございますので、そちらについては文言を修正させて頂きます。</p> <p>それから、「みんなが」という部分についてですが、今回敢えて追加をさせて頂きました。これは元々が「未来のために やさしさでつながるまち」という事で、やさしさというものをもう少し引き立てるために書かせて頂いたものです。</p>
--	---

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>このやさしさというものが、どちらかと言うと、自助とか、共助とか、公助とかと言われてますが、どうしても公助にポイントが当たりすぎる感じがありましたので、出来れば自助、共助の部分をぜひ皆さんで、市民の皆さんでも育てて頂きたいという想いを含めて、「みんなが」と敢えて追加をさせて頂きました。</p> <p>ここについては委員の中で、やはりおかしいという事であれば、またそれはそれですが、私どもとしての考えはそういう事でございます。</p> <p>また、16 頁以降ですが、大変申し訳ございませんでした。事前に頂いた意見にはございませんでしたので、大幅に修正という所までは至りませんでした。また同じようなチャンスをとる事でございますが、もし皆様からもぜひという事でしたら、それはそれで私どもも考えたいと思いますが、パブリックコメントまでに直す必要があるのか、それともパブリックコメントを受けて、直せば間に合うのかという部分も含めまして、ご検討頂ければと思います。</p> <p>ただ、H 委員がおっしゃる 16、17、18 頁ですが、このままではパブリックコメントに出すのも如何かという意見でございます。パブリックコメントは来週 29 日からスタートしますので、ご意見は今週中に頂戴できればと思います。</p>
会長	いかがでしょうか。
C 委員	もう少し、練り直した方が良いかなと思います。
会長	そのタイムスケジュールですが、パブリックコメントの事を考えると今週いっぱいという事ですか。
企画政策課長	<p>はい、実質、明日お休みですので、21、22 日しかございませんが、様式は問いませんので、メールなりファックスなりでご意見のある方だけでも頂戴できれば、それを待って、来週に最終校正をいたします。</p> <p>今回、会長からもご意見を頂いておりますので、同時に手を入れてまいりますので、それと合わせて作業をして、パブリックコメントを迎えられればと思います。</p>
会長	22 日までに、頂ければという事ですね。
企画政策課長	できれば 22 日までにメールなりファックスなりで頂ければと思います。

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>会長</p>	<p>それで宜しいでしょうか。年度末でお忙しいとは思いますが、習志野市の長期計画に係る事ですので、何とか時間を調整して頂いて、主に後半部分を検討して頂き、ご意見を頂戴したいと思います。</p>
<p>G 委員</p>	<p>宜しいと思います。私はこの前にもお話し申し上げましたが、基本構想でございますので、この 12 年間の構想と言う事になりますと、文章がある程度長めになるのは止むを得ないと思っております。</p> <p>この前も申しあげましたが、全体的にどうしても具合が悪いと言うなら別ですが、大方のご意見がこの目指している事についての、根本的な方向性に問題がなければ良いと思います。</p> <p>表現の仕方というのは、毎回同じような問題が出てくる可能性があります。エンドレスになっても何の意味もないと思いますので、3 月 29 日からのパブリックコメントが始まりますから、今日以降は会長のご意見もありますので、あとは事務局が中心になって頂いて作成をしていただくと。</p> <p>これはいつまで経っても終わらないと思いますので、私は、会長と事務局に一任をして、今日頂いたご意見、それから 22 日までにご意見を出して頂いて、それを基に次の審議会を開いて頂ければ宜しいのではという事を提案したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>どうもありがとうございます。</p> <p>いかがでしょうか。この基本構想の趣旨としては、大体、皆さんの納得が頂けたかと思えます。あとは、真意がちゃんと伝わるようにと、技術的な問題があるという事で、そこは宜しければ、私と事務局で修正をしていきたいと思えますが、ご一任頂ければと思えます。</p> <p>ただし、皆さんのご意見は 22 日までで頂いて、それを基に最終的な所という事で宜しいでしょうか。</p> <p><「異議なし」の声あり></p> <p>はい、どうもありがとうございます。 それで宜しいでしょうか。</p>
<p>H 委員</p>	<p>はい、私はそれで対応します。</p>
<p>会長</p>	<p>では、その他にいかがでしょうか。</p>

<p>○ 委員</p>	<p>先程、「未来のために みんながやさしきでつながるまち」という事で、「みんなが」を削ったらどうかというお話がありました。私は、これは入れたほうが良いのではないかと思います。</p> <p>と言いますのは、今、社会では孤立化が進んでいると思います。そのなかでは、言葉的には「やさしさ」というのは難しいです。</p> <p>哲学的な言葉のような感じがするのですが、社会で孤立化が進んでいても、色々と自助、共助で助け合わないと、これからの社会はなかなか成り立たなくなってくるわけです。現状も多分、そういう感じだと思います。</p> <p>それに対して、出来るだけ多くの市民にやさしくなってもらって、自助だとか、共助だとかで参画できるような環境をつくるのが、市の発展に繋がっていくのではないかなと思います。</p> <p>従って、この「みんなが」という言葉を残す事の、印象と言うのでしょうか、言葉の持つ力があるような気がします。</p> <p>社会の背景にあるものを考えると、この言葉を入れたほうが私は個人的には良いのではないかなと思います。それがコミュニティの危機に繋がっているような感じもするので、出来るだけ多くに呼びかけるというのは非常に大事な点だと思います。</p>
<p>J 委員</p>	<p>今のお話に繋がるのですが、前回の時もお話させて頂いたのですが、この「やさしさ」という言葉は本当に抽象的で、10 年ぐらい前は本当に何だろうという感じで、市民の皆さん、また、地域の中で繋がっていかなかったという想いを、私はとても受けています。</p> <p>それはなぜかと考えた時に、やはり普通で当たり前というのでしょうか。この時代の中で、今なぜこの「やさしさ」という言葉を、習志野市が強調してきたかと考えた時に、スタート地点にまで届かない人達、そういう人たちをマイナスからゼロへ、スタート地点へという部分で、私はよく使わせて頂きます。</p> <p>そういう部分も含んで、この皆を繋げていくという、この「みんなが」という言葉の中に、そういうスタート地点にも立てない人たちにも、この希望だとか、また、やさしさという抽象的だったものが、わかりやすくなってきているのかと、私はとてもそういう感じが致しました。</p> <p>ですから、この「みんなが」と付いた事が、かえってわかりやすくなったという想いで、私は大変良いのではないかと感じております。</p> <p>ただ、先程も皆さんから指摘があったように、文章が長すぎてわかりづらくしている部分もございますので、そこをわかりやすくコンパクトにしている部分が必要ではないかと感じました。</p>

<p>I 委員</p>	<p>今、様々なご意見が出ております。</p> <p>この「みんな」という視点では、将来都市像として、私は賛成です。</p> <p>ただ、この都市像の言葉に関しましては、わが市がどこを目指して進んでいくのかという具体的な視点が必要だという事で、平成 25 年度からスタートする「健康なまちづくり条例」があります。</p> <p>新たにこの健康という部分について、都市の健康も入り、様々な心の健康も入り、大きく前に進んでいく。私は本当に皆さんが健康で、そこにやさしさも入り、全て入っていくものではないかなという想いです。</p> <p>本当でしたら、折角できた「健康なまちづくり条例」、この社会基盤の整備、すべて入ってくる中で、大きく健康都市を掲げて、前に進んでいける、その中にソーシャルインクルージョンも入ってくるのではないかと、教育の中にも入るのではないかと、私はそのように感じました。</p> <p>ですから、将来の都市像、この 12 年間で習志野市が進むべき方向性、健康なまち、健康都市、これをみんなで作っていかうと、こういう明確な指標が、私は必要だと思います。</p> <p>これは市長の色々な想いもありますので、この言葉が入っていると思いますが、個人的な意見としては、ここの健康という言葉は重みがあると思います。そこに向かわないと、「健康なまちづくり条例」が市民に伝わっていかない、何のための条例なのかという部分が非常に危惧されると私は思いました。</p> <p>と同時に、この基本構想の中で、最初に出てきている「支え合い活気あふれる健康なまち」、これが最初に来ているという事は、ここから吸い上げていくという事の方向性を示していく事が必要です。教育の中でも、この健康という中に、心も入れる、やさしさも入れる、これが私は必要だと感じました。</p> <p>それともう一点は、教育の中で、先程、グローバル化という言葉が云々と言われていましたが、これから国際社会に向かって、習志野市がどう突き進んでいくのかという子どもの教育の視点、これも私は必要だと思いました。この中に入っておりませんが、「未来をひらく教育の推進」の中に国際社会に向けて、子どもたちの教育の推進をどのようにされていくのかという事が気になりました。</p> <p>それからもう一点は、最後の協働ですが、C 委員が前回も市民協働が入っているよ、これはどうであろうかという事でした。</p> <p>私はこの「協働型社会の構築」、これはさらなる協働が必要だという想いの中から、やはり新たに推進していくという習志野版の新たな協働、ここを重点的に置いた、新しい仕組みづくり、これが必要だと、個々の言葉をちょっと入れるだけでも、協働という所が一步見えるのではないかなという想い</p>
-------------	---

	<p>が致しました。</p> <p>それから私も他市の基本構想、様々拝見しました。比較いたしますと、習志野市は丁寧だなという事を非常に感じました。言葉が非常に長いので、細かい視点まで良い言葉で言えば丁寧な構想になっているなという印象を受けました。</p> <p>様々な都市では、もう少しわかりやすく言葉を縮小して、それでその後に基本計画が来て、その中に一つひとつまた細かいものが羅列されていくというような事も拝見しましたので、もう一度、この文章の部分はわかりやすさを求めたほうが良いのではないかなと感じました。</p>
会長	健康という部分もスローガンに入れればという事だったかと思いますが。
I 委員	難しいとは思いますが、せつかく条例がありますので謳いたいなと思いました。
会長	その辺りのご意見等について、事務局からいかがでしょうか。
企画政策 部長	<p>今、様々なご意見頂戴致しました。実は将来都市像の部分ですが、先程、H 委員のご発言の中で、「みんなが」という事がなくてもいいのではないかというご意見ではなくて、例えば、「市民が」など、そういう主語に変えたほうが、もっと具体的ではないのかというご意見であったと思います。</p> <p>「みんなが」という言葉が良いのか、「市民が」という言葉が良いのか、それとも他の言葉が良いのかという部分については、私どもも考えさせて頂きたいと思います。</p> <p>ただ、実は前回の審議会が終わってから、委員の皆様方のご意見をたくさん頂戴して、市長、副市長、それから私どもの担当とですね、直接協議をさせて頂きました。</p> <p>市長自身も、市長室の中に、実は何本かの将来像を、例えば、「やさしさを」とか「やさしさが」とか、色々なパターンがありますので、何本かつけて、市長室に掲示を致しまして、市長が日々、どれが一番自分の気持ちに合うのだろうか悩んでいらした部分があります。</p> <p>前回の中では、「未来のために」という事ではなく、「未来に向けて」というご意見もありましたが、様々な中で、最終的に市長としては、「みんながやさしさでつながる」というのが一番しっくりくる、要するにご自分の気持ちと一番しっくりくるという事で、私どもとしても提案させて頂いたという事でございますので、ここについては今一度、市長、副市長と協議をさせて頂いて、この場で変えますという事が出来ませんので、ご容赦頂きたいと</p>

	<p>思います。</p> <p>また、都市像の中に、I 委員から「健康なまちづくり条例」の趣旨をこの中にご意見を頂きました。簡単に言うと、例えば、「未来のために健康都市習志野」というような事だと思います。</p> <p>この部分については、先程、A 委員が都市憲章を少し考え直すと良い事があるのかも知れないというご発言がありました。その中で、例えば、環境に少し視点を置く、足を置いた考えを、というご発言もありました。将来都市像と言うのは、12 年後に習志野市がどういう姿でありたいのかという事だと思います。</p> <p>文教住宅都市憲章の中には、制定された当時から環境という部分、昭和 45 年はまさに公害問題が一番取り沙汰されている時期でありましたので、文教住宅都市憲章の前文の中には、青い空とつややかな緑を守るという言葉が書かれております。</p> <p>そういった意味では、習志野市は青い空、それからつややかな緑、まさに自然環境と住宅環境、様々なものの環境を守るというスタンスがしっかりと含まれていると、私もはずっと考えておりました。</p> <p>またそのほかに、福祉、教育の充実を図るという部分もあります。それは、現状の文教住宅都市憲章、市民総意で憲章として制定されているという事を考えますと、やはり都市憲章そのものは、基本理念という事でございますので、これをしっかりと位置付けた中で、今回の基本構想の中では、この全体の流れは文教住宅都市憲章を将来にわたって堅持するという意志でつくっておりますので、そこはまずご理解を頂きたいと思います。</p> <p>そして、その中では 25 年の 4 月より施行致します「健康なまちづくり条例」。この部分を、言ってみれば、文教住宅都市憲章を越えて、都市像として定めるということは、どうなのかという議論がありました。</p> <p>ただし、基本計画の個々の事業で組んでいくものについて、「健康なまちづくり条例」という条例そのものの趣旨を考えますと、それぞれの計画の中では、しっかりと考え方を踏襲して組んでいく、或いは実施計画を組んでいく必要があると我々は考えております。</p> <p>そして、センテンスが長いという部分に、皆さん、色々と感じていらっしゃると思いますので、これは会長のご指示もございますので、しっかりと訂正をさせて頂いて、出来れば、接続詞があまり被らないように、「さらに～、さらに～、したがって」などにならないように注意をしながら、文章は精査をさせて頂きたいと思います。</p> <p>それから、協働という部分の話がありましたが、まさしく協働と言う言葉は使われ始めて十数年となります。当時から習志野の協働は、まちづくり会議ですとか、地域担当制と言った中でしっかりと汲み上げられてきたという経</p>
--	---

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

	<p>過もごございますので、さらに習志野独自という事で、担当部署を含めて検討させて頂ければと思います。</p> <p>只今、概ねそういう事でご意見を頂けましたので、22 日までにさらにご意見が頂ければ、それを反映させて頂いた中で、パブリックコメントに持っていきたいと思っています。パブリックコメントが終わった時点でも、もう直せないという事ではございません。よりわかりやすく、読んで頂けるものになくはないだろうと思います。少しまだ期間がございますので、調整してまいりたいと思います。</p> <p>全てにお答えしきれてはいませんが、まだ、ご意見もあるかと思っておりますので、お聞かせ頂ければと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>D 委員、どうぞ。</p>
<p>D 委員</p>	<p>私は「みんなが」というひとまとめ的な言い方ではなくて、主役は市民、個人一人ひとりですから、全体を見た時に市民が優しさに繋がるような、個人を大切にするような言葉の方が良いかなと思います。みなさんは「みんなが」が良いという事ですが、私は市民レベルで考えた場合にそういう事を思いました。</p> <p>あとは、先程言いましたように、長文で、言っていることはすごくわかるのですが、読みづらくて、読めない。</p> <p>文字はすごく立派ですが、H 委員が言うように、私も読んだのですが、二回読んでもなかなか主語と述語がはっきりしなくなってしまう。もう少し短文で、明確に、誰でも読めて、誰でもわかるような文章にしたほうが良いのではないかと私は思います。</p> <p>あと、文教住宅都市憲章とありましたが、先程、C 委員が言いましたように、これから地球との共生とか、環境問題が非常に重要だと思います。12 年の間にエコロジーとか、なるべく省エネで良い生活を送る、エコロジーという問題もあります。12 年の間で、エネルギーをあまり使わないでという事も、これからの指針の中で重要になってくるのではないかと思っています、この文章の中では、環境の問題で一部ありますが、もうちょっと大々的に謳っても良いのかなと、私は思います。</p>
<p>会長</p>	<p>事務局の方でお答え頂ける所はお願いしたいと思いますが。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>今の D 委員のお話ですと、文教住宅都市憲章を受けまして、環境の辺りが弱いのではないかとのご指摘だったろうと思います。そちらについては、検討させて頂きたいと思います。</p>

<p>会長</p>	<p>文教住宅都市憲章についての認識を新たにするという事もあると思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>A 委員が言われた通り、この文教住宅都市憲章は、緑を大切にするという事で、やはり僕らはきれいな空気と水がある事で、生きていけるという事が大前提になると思います。</p> <p>そこの所をもう少し、未来のためであるならば、そこが大事だよという部分を残してあげないと。</p> <p>自分勝手な行動をしていると、結局は環境問題を起こして、自分たちの大事な水や空気を汚染しているわけですから、環境という部分を入れて欲しいと思います。</p> <p>また、文教住宅都市憲章を制定しており、ここはつつい住民自治、市民協働の理念という所で、「やさしきでつながるまち」と言うテーマにつなげたいと思いますが、もう少し、タダだけれども、この大事な水と空気を未来のために残して、僕らは生活していくという想いを載せていく事が、「未来のために」に繋がるのかなと、議論しながら思いました。</p>
<p>L 委員</p>	<p>色々と有効なご意見をたくさん頂戴していますが、文章は短くしろ、しかし、これを拾え、あれを拾えとしたら、これは矛盾です。</p> <p>重要な事については、論議を尽していることですから、もうまとめの段階です。</p> <p>だから先程言われたように、会長と事務局でパブリックコメントに対して、どのようなまとめ方ですかをやって頂くよりほかありません。</p> <p>それと、このキャッチコピーですが、D 委員の「市民」というのも一つの意見ですね。しかし、H 委員が仰ったように、これは市民だけではなく、色々な団体もありますから、それを包括的に言うと「みんなが」で良いのかなと思うのです。</p> <p>ただ、D 委員が言うように、市民を強調するという事になれば、また考え方が違ってくる。そういう事で、いくら言ってもしかたがない。ある程度は、まとめる必要があると思います。</p>
<p>G 委員</p>	<p>今、L 委員が申されたように、この「みんなが」という表現そのものが、個人の考え方は千差万別ですから、これはこれで良いという事を前提にしていかないと前に進まないと思いますので、皆さんから了解を取って頂いた上で、後の方は先程、私が提案したように会長と事務局でまとめて頂くと。</p> <p>これはですね、基本構想と言うのは 12 年ですから、何が起こるかわからないです。だから、あらゆる起こりうることを想定して、箱をいっぱい作っ</p>

<p>C 委員</p>	<p>てあげて、今度はその箱からいかに基本計画と言う形で具体的に引っ張り出していか、ここで、色々と皆さんの意見が反映されると思います。</p> <p>それを基本計画の中で、皆さんの意見を重点的に取り入れた格好で進んで頂ければありがたい。その下に、さらには実施計画もありますから、これは喫緊の課題を事業としたものですから、その段階で、様々なルートを通じて意見を申し上げて頂ければ、市民としては非常にありがたいと思いますので、このあたりでまとめて頂いた方が良くはないかと、私は思います。</p> <p>前回の審議会で、僕は、この将来都市像に関して、事務局からの委員意見一覧には環境都市とか、津波対策とかそういう所を言わせて頂きました。それに関しての修正対応が書かれていないので、私は、確かに環境についてお話をさせて頂きました、また、今回、なぜ環境についてお話したかと言うと、A 委員が前回御欠席で、今回、環境について入れたほうが良いよと言うご意見を頂いたので、私も賛同するという形で、意見を言わせて頂いたという所です。</p>
<p>A 委員</p>	<p>私は、長期計画、12 年間続くものについては、出来る限りブラッシュアップしていくべきだろうと考えています。</p> <p>ただ、7 頁に基本構想の体系というものがございまして、3 つあがっております。「健康なまち」「快適なまち」「心豊かなまち」です。</p> <p>それぞれ、その中に、若干具体的に方向性を示している言葉があつて、多分、これらの下に具体的な政策が、今後、協議されていく事だろうと思います。</p> <p>その時に、この 3 つの基本構想の、タイトルになるテーマが「未来のために みんながやさしさでつながるまち」というものに位置付けられるという事だろうと思います。</p> <p>今、そこの所のバランスについての議論をしていると思いますので、この表が頭にあると、皆さんの意見がそれぞれ既に入っているのではないかなと、私は感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>今、A 委員の方からおっしゃって頂いた事は、実は前回、まず 7 頁を絞り込む所からスタートしていたのですが、結局はまたそこに戻るという事だと思ひます。</p> <p>スローガンについては、色々な意見分布がありますが、その他の部分につきましては、色々なご意見を踏まえまして、事務局で詰めさせて頂くという事にしたいと思います。</p> <p>スローガンについては、いかがでしょうか。</p>

G 委員	結構だと思います。僕は現案のままで良いと思います。
C 委員	パブリックコメントもまだありますから。
会長	市長がこの案にしたいという事だと思いますが、副市長、いかがでしょうか。
副市長	<p>市長も大変悩んでおりまして、初めて自分でつくる基本構想ですから、こういったものが良いのかなという事で。</p> <p>12 年間議員をしておりますので、その想いもありますし、40 歳という若さもありますし、色々な面でこれからの世の中、習志野市の事を考えています。</p> <p>また、先ほど、事務局から申しあげましたように、将来都市像を自分の部屋の壁に大きく張って、毎日眺めて、来る人に意見を聞いたりしていました。</p> <p>これは、パブリックコメントをかけますから、そういう意味では、富士山に例えますと、まだ頂上まで行っていません。従って、徐々に 8 合目に迫っているという事ですから、これからも皆さんのご意見を聴いていきます。</p> <p>そういう意味では、今日、私がずっとお聞きをしていると、やはり、すごく良い議論をして頂いているなと思います。私自身も、まだまだ、言葉の中とか、或いはまとめ方とか、そういう事について、完全に自分自身で納得していない部分もあります。</p> <p>ただこれは構想ですから、各セクションでは実は 26 年度を越えて持っている計画が 30 本以上あるのです。そういう計画もここで見直すのか、或いは国の法律があつて、ずっと続けていくのかという事もありますので、そういった具体的な、先ほど G 委員からもお話がありましたように、引出しの中には色々な細かなプランがいっぱいあります。</p> <p>それを全部包み込んで、どういう表現にしたら良いのか、それがまた実施計画から基本計画、そして構想に流れますから、そうするとそれを包み込んでいくという事になります。実は、その逆の作業も担当部はしています。</p> <p>そういう事もありますので、当然の事ながら、今後、これからパブリックコメントを頂いて議会に出すまでは、基本計画も併せてわかるようにしていかないと、なかなか議会の審議の中でも抽象的ではないかと思えます。</p> <p>そういう事も含めまして、これからの作業を進めますので、そういう意味では、今月末のパブリックコメントにどうかけるかっていうのは、さっき頂いたご意見を踏まえて、一つの叩き台の案をつくらせて頂ければと思ってい</p>

<p>会長</p>	<p>ます。</p> <p>今日は、大変貴重なご意見を頂きました。従って、全体の都市像そのものについても色々なご意見があります。その通りだと思います。これが、これですとこのままという事ではありませんので、ご意見を聴いて、最終的には皆さんの中でご納得頂くようにまとめていきたいと思っております。</p> <p>3 回目の審議に向けて、副市長のお話では 8 合目まで来たという事で、あと若干修正はしますし、皆さんのご意見も頂戴しますが、それを直す形でパブリックコメントにかけるという事にしたいと思います。それで宜しいでしょうか。</p> <p><「異議なし」の声あり></p> <p>では、本日の所はこの辺に留めたいと思います。</p> <p>次に「5 その他」ですが、C 委員、どうぞ。</p>
<p>C 委員</p>	<p>今の所、委員同士での将来都市像の議論がないではないですか。ある意味パブリックコメントと一緒に、僕が意見したものを職員が答えてという形ですが、「それは違うよ」とか「それは賛同するよ」とか、言って頂いて良いと思うのです。</p> <p>でないと、審議会でテーブルに揃った意義がないような気がします。いわゆるパブリックコメントと変わらなくなってしまっているような気がします。</p> <p>このパブリックコメントを頂いたら、ご意見の修正対応などをして、行政側はまとめると思うのです。</p> <p>ここに関して、審議会として「ここはおかしいよね」という所を、この特別傍聴人の意見に対するものも出てくると思いますが、それを議論しないと、一方的に職員と僕ら各委員が質疑応答しているだけで、せっかくの特別傍聴人の意見を生かしきれてないような気が私はします。いかがでしょう、今後の審議会の進め方という事に関して。</p>
<p>会長</p>	<p>私の方としましては、まずは事務局の方で、ある程度、案を作成して頂きまして、この基本構想を各委員の方に見て頂いて、問題点等を指摘して頂く過程で、前回も委員の間での多少のやり取りはあったのではないかと思います。</p> <p>従って、まだ不十分だとは思いますが、これからも具体的な問題について、委員同士の議論、審議という形をとっていけるのではないかと思います。</p>

	す。
C 委員	ありがとうございました。
会長	いかがでしょうか。私も審議の進め方については、特別傍聴人の方から、前回、もう少し行政と言いますか、事務局の考え方というのを引き出した方が良いのではないかと、聴かせて欲しいというご要望もあったという事は認識しております。
C 委員	特別傍聴人とか市民の皆さんの意見を、この委員はどう思っているのかという事も大事ではないですかね。
会長	もしくは、特別傍聴人からは細かな数値的な所が出てきていますので、そういう事についても、どこまでこの基本構想に入れるか、あとは実施計画に入れるか、その辺のバランスがどうなっているかという事は確認させて頂きたいと思いますが。
G 委員	<p>基本的には、現在の議論の形にせざるを得ないと思います。</p> <p>討論会になってしまうと、これはなかなか難しい。時間制限もありますので、出来るだけ意見に対する交換は必要だと思いますが、時間の関係もありますから、これはある程度、止むを得ないと思います。</p> <p>それから、特別傍聴人の意見は、皆さん、見ていらっしゃる中で、「なるほどそうだな」という事をここで発言して頂く分には構いませんが、傍聴人の意見をここで議論するという事は、また違うと思います。その点はきちっと分けて頂かないと混乱すると思います。</p>
C 委員	<p>私は、今は当局が出してきた基本構想案について目を通して来たわけですが、今後出てくる修正対応という所も、僕らは見て、議論、意見を出していかないといけないのではないのかなと思いました。</p> <p>それは、最初の式次第に、【資料 1】について議論を下さいと書いてありましたよね。これは、【資料 2】をもとに、【資料 1】にしてあったと思うのですが、この【資料 2】も、僕らはやはり目を通して。そういった所も今後は委員も意見をみんなで言う事が、良い基本構想になり、それが習志野市民のための市政になるのではないかなと思ったので、今後の審議会についての発言をさせていただきました。</p>
企画政策	今、少しお話を頂きましたが、基本的に現在の状況は、諮問中でございま

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

<p>課長</p>	<p>すので、審議会において、審議をして頂くという事が基本にあると思います。</p> <p>まさに今回は、委員同士で意見を交換していただいて全く構わない会議でございましたし、意見交換をしていただいていたかと思います。</p> <p>その個々の意見をすくい上げさせて頂くために、私どもなりに直すべき所を直していきたいという状況ですので、先程の委員のご発言につきまして、この回もそうですし、次回も概ねこのような形で進むだろうと思っています。個々具体の所を委員同士で意見交換するのは、現実的にはどうかという疑問はあります。</p> <p>また、時間的な事も確かにありまして、時間の事を言うのは大変申し訳ございませんが、5月上旬には答申を頂く日程で考えております。</p> <p>それを遡りますと、4月26日にパブリックコメントが終わると、ただパブリックコメントが終わっても、多くの意見に対して、私どもなりにどこをどう修正するかというのを、もしかすると全庁的に検討しなければいけないケースも想定されます。</p> <p>そういう部分では、4月26日のパブリックコメントの終了を受けて、次回の会議を開催できるタイミングが恐らく5月になってしまいます。ゴールデンウィークの合間かもしくは明けかというところでございます。</p> <p>そうすると、今度は答申と間がない時期という事ですので、場合によっては、パブリックコメントの中間あたりに、審議会として一回、答申を行う方向で固めたらどうかとか、もう少し直したらどうかという機会をパブリックコメントの終わりを待たずに審議会を開催するという事になるかも知れません。</p> <p>状況としては、5月の議会の開催もありますので、その前には答申を頂く予定で日程を組んでおりますから、恐らくパブリックコメントが終わってからの審議会の開催というのは、一回若しくは二回できるかどうかという所だと思います。</p> <p>それを踏まえて、4月の中旬にパブリックコメントは終わらないですが、もう一度、意見交換をするという事であれば、そういう事でご案内申し上げたいと思いますし、パブリックコメントを待ってから答申案について検討したら良いのではないかという事であれば、5月に入ってから、もう一度お集まり頂きたいなと思っております。</p>
<p>C 委員</p>	<p>答申案をその一回だけですか、5月に入ってから。</p>
<p>企画政策</p>	<p>皆様のご予定が揃うのは難しいですから、二回できるかどうかだと思います。</p>

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

課長	ます。
会長	4 月にパブリックコメントの中間段階でという選択肢もあるとは思いますが。
G 委員	<p>現実的には、皆さん、全部の会議に出て頂ければ、同じテーブルで意見が言えるのですが、たまたま欠席されると、次の時にご意見出たと、エンドレスになります。</p> <p>その辺は、よく、会長と事務局が相談されまして、開催時期と回数は判断して頂きたいと思います。</p> <p>皆さん、それぞれご予定があつて、どうしても出席できない時にどうフォローするかという事もあります。欠席されたから「また」となるとこれはまた問題が出ますので、そこを含めてご検討を頂きたいと思いますので、あとは、会長と事務局で検討して頂きたいと思います。</p>
企画政策 課長	<p>パブリックコメント中ではありますが、4 月中旬頃に一度開催した方が良いというご意見が多ければ、そのように進めてまいりたいと思いますが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。</p> <p>(パブリックコメントの終了後で。色々な市民の皆様のご意見をよく吟味しながら、審議していければ生かしていけると思う。と複数意見あり。)</p>
会長	では、多くの方が終了後で宜しいのではないかという事のようにです。
企画政策 課長	わかりました。では、終了後に出来るだけ早く、私どもも修正を反映し、事前送付という形で資料をお届け出来るように、日程を詰めていきたいと思っておりますので、ご協力お願いしたいと思います。
会長	「4 その他」の所でご発言はございますか。宜しいですか。
L 委員	<p>会長と事務局で、パブリックコメントに出すための検討をするのですが、対外的に見られても日本語としておかしくない文章をつくって下さい。それだけは、十分に。</p> <p>それから、各委員におかれましては、ぜひ 22 日までにご意見を出して頂きたいと思っております。お願いします。</p>
会長	今まで出た意見と関係しますが、改めてスケジュール等について、事務局

平成 24 年度第 3 回習志野市長期計画審議会 会議概要

企画政策 課長	<p>より連絡はありますか。</p> <p>今、概ねお話し申し上げましたが、パブリックコメント後に次の審議会という事でございますので、それについては改めてご連絡申し上げたいと思います。</p> <p>そして今回、パブリックコメントは、来週末から市民に公表してまいります。そこに向けて、週明け、若干修正を致しますが、出来るだけ早く、修正後のものを委員の皆様にもお配りできるようにしたいと思っておりますので、宜しくお願ひしたいと思ひます。</p>
会長	<p>では、本日の審議会を閉会したいと思います。ご異議はございませんでしょうか。</p> <p><「異議なし」の声あり></p> <p>では、本日の議事は滞りなく終了致しました。ご協力ありがとうございました。本日はこれにて閉会致します。長時間に渡り、大変お疲れ様でした。</p> <p style="text-align: center;"><u>閉 会</u></p> <p>11 : 50 終了</p>